

宮城大学 後援会報

Vol.47

発行
平成28年8月1日

発行者
〒981-3298
宮城県大和町学苑1-1
宮城大学後援会
TEL022(377)8381

編集
宮城大学後援会事務局



「デザイン情報から価値創造へ」=6月11日大和キャンパス講義室

今年度の「MYUサポーターズデー」を6月11日(土)に大和キャンパスで、6月18日(土)には太白キャンパスでそれぞれ開催しました。両日とも清々しい梅雨晴れ。各キャンパス98人の後援会員の皆さまにご参加いただき、教職員も合わせれば合計288人が集い、語り合いました。

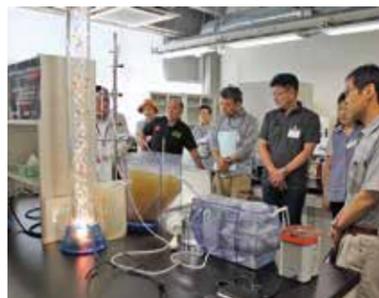
「MYUサポーターズデー」は、宮城大学が学生にとって充実した教育環境になるように、後援会員の皆さまに大学の様子をご覧いた

だき、大学との相互理解を深めるための場として後援会が主催する行事で、今年で7回目を数えます。

まず初めに、学生や教職員の案内によるキャンパスツアー。教室や実習施設、学生食堂などの特徴や利用状況についての工夫をこらした説明に、「子どもがどんなところで、どんなことを学んでいるのか実感できた」との感想をいただきました。続いて学部ごとに会場を分けて学科紹介、模擬講義、就職状況の説明。アンケートには「模擬講義は分かりやすく、毎年楽しみに」としっかりとキャリアサポートしてくださる教職員の方々の情熱が伝わった。「全国四位、公立では一位という高い就職率が、宮城大学の質を物語っている」と、ご満足の声が並びました。また、学群学類制への移行に象徴される宮城大学の改革のビジョンを語った西垣学長のお話には「重く受け止めた」との感想も。カフェテリアに移動して行ったティーパーティーは「先生方と気軽に話ができて有意義だった」と、皆さま楽しいひと



懇談会では研究成果の食材を試食=6月18日太白キャンパスカフェテリア



キャンパスツアーでの水の浄水装置の模型を見学=6月18日太白キャンパス共同実験室

H28年度主催事業「MYUサポーターズデー」 今年も「学びの現場」を 実感していただきました

時を過ごされたようです。今回は4割を超える方が県外からのお越しでした。ご夫婦や下のごきょうだいもついて来たご家族が目立ち、中には卒業生のご父母も。来年もご期待に沿えるよう、いただいた貴重なご意見を踏まえながら一層の充実を図っていきたいと思います。

最後に、アンケートの中で一番うれしかった言葉を。それは、「良大学だなと思った」。

来年もよろしく願います。
(後援会副会長 武田篤彦)

平成28年度 宮城大学入学者選抜試験実施状況 (編入学を含む)

学部・学科	募集人員	実質競争倍率	入学者数	入学者詳細					
				性別		出身地			
				男	女	県内	県外	その他	
看護 看護学科	100	3.0	101	5	96	60	34	7	
事業 事業計画学科	100	2.9	107	48	59	76	28	3	
構想 デザイン情報学科	100	2.7	102	38	64	69	33	0	
食産	ファームビジネス学科	42	3.1	46	22	24	21	24	1
	フードビジネス学科	52	3.4	55	12	43	26	28	1
	環境システム学科	31	3.6	35	18	17	20	15	0
合計	425	3.0	446	143	303	272	162	12	

※出身地は、卒業高校等所在地で分類(外国人留学生、編入生はその他に分類)

平成28年度 宮城大学大学院入学者選抜試験実施状況

研究科	募集人員	実質競争倍率	入学者数	入学者詳細	
				性別	
				男	女
看護学研究科博士前期	10	1.1	10	0	10
看護学研究科博士後期	3	1.0	2	0	2
事業構想学研究科博士前期	20	1.0	13	10	3
事業構想学研究科博士後期	3	1.0	2	2	0
食産業学研究科博士前期	13	1.0	6	1	5
食産業学研究科博士後期	3	-	0	0	0
合計	52	1.0	33	13	20

記事一覧	2面 ●平成28年度後援会総会開催 3面 ●平成28年度入学式、学長あいさつ、医療機関研究セミナー 4面 ●平成27年度卒業式、卒業生進路状況、就職先	5面 ●連載コラム、新入生交流会 6面 ●学生の活動紹介、シリーズ「絆」vol.16 7面 ●平成28年度大学年間行事予定	8面 ●教員からの一言、平成27年度学長表彰、同窓会からのお知らせ、平成27年度卒業次事業報告、編集後記
------	---	---	--

教員からの一言

「価値創造デザイン」と「建築プログラミング」

建物をつくるプロセスに「建築プログラミング」という段階があるのをご存知ですか。コンピュータの話ではありません。建築プログラミングとは、建築空間に対する人々の要望を実現するために解決すべき問題を設定することで、その問題を解決するのが設計の役割になります。優れた解決策(設計)を導くには、解くべき問題が明確になっていることが大切なのは言うまでもありません。しかし、従来の建築デザイン教育では、一般に「問題解決」の方法や技術の習得に重点が置かれ、「問題設定」に関する教育は十分ではありませんでした。



事業構想学部教授 井上 誠

社会が急速に変化する中で、私たちの生活に不可欠な建築空間に対する要望も多様化・複雑化しています。より豊かな生活環境のデザインに、建築プログラミングは重要な役割を担っています。事業構想学部デザイン情報学科は、事業構想学群価値創造デザイン学類に生まれ変わります。人々の生活環境に新たな価値を創造するデザイナーにとって、建築プログラミングの知識は不可欠です。

平成27年度 卒業記念事業実施 エントランスホールへ 大型掛け時計寄贈

- ・大学への記念品：大型掛け時計2台(大和・太白キャンパス各1台)
- ・卒業生への記念品：印鑑(ネーム印・訂正印)
- ・謝恩会費用一部助成



編集後記

大学創立20周年を機に同窓会の再結成が図られています。最初に学び舎を巣立った1期生は、今、社会人として中心的存在になろうとしています。現在は卒業生も6千人を超えるほどになりました。7月に行われたオープンキャンパスは過去最高の来場者数となり、宮城大学へ寄せられる感心の高さが伺えました。受験生を惹き付ける魅力として、社会で活躍する卒業生の担う役割は大きいものがあります。生涯支え合う仲間として、また大学を支える組織力として、同窓会の絆をよりいっそう確かなものにしてほしいと思います。(S・I)

学長表彰2015

8人と3団体が受賞

在学中に研究活動、課外活動、社会活動において顕著な成果をおさめ、大学の名誉を高めた学生に対して、学長賞、学長奨励賞が贈られます。今回は、学業優秀者3人をはじめとする個人8件、団体3件が受賞し、西垣学長から賞状と記念品が贈られました。受賞者と受賞内容をご紹介します。

学長賞

- ① 庄子 公美子(個人：計画3年)
せんだい・社の都親善大使及びライシーレディーに選出 宮城県の特産物・観光資源の広報や、産業活性化に大いに貢献。社会活動において、顕著な成果をあげた。
- ② 宮城大学 チームちばさち(任意団体：計画3年 千葉さち 他4人)
JTB大学生観光まちづくりコンテスト青森ステージ 観光庁長官賞(最優秀賞)及びマイナビ賞を受賞。研究活動において、顕著な成果をあげたもの。
- ③ 宮井 克弥(個人：博士課程後期2年)
過去3年間に学会賞を3つ受賞。研究活動において顕著な業績を収めた。
- ④ 大御 紅里(個人：看護4年) ⑤ 鈴木 千穂(個人：計画4年)
⑥ 大場 春香(個人：テ情4年) ⑦ 佐藤 明美(個人：環境4年)
学業において、顕著な成績を修めた。

学長奨励賞

- ⑧ 細谷 竣生(個人：テ情3年) ⑨ 田代 公美(同)
- ⑩ 荒谷 江莉香(同)
日本建築家協会(JIA)東北支部主催第19回JIA東北建築学生賞入賞(特別賞受賞)
研究活動において顕著な成果をあげた。
- ⑪ フードビジネス学科栄養学研究室 4年生
(任意団体：フード4年小笠原千晶 他4人)
みやぎのかまぼこ学生アイデア・コンテスト 優勝。食育を推進するとともに大学の名前を広めた。
- ⑫ @グリーン(任意団体：ファーム4年 大塚沙穂子 他38人)
ボランティア活動(被災者支援)。被災者支援団体が無くなっていく中で、継続性のある活動を展開し、被災者からの強い信頼を得ている。
- ⑬ 今野 智貴(個人：博士課程前期2年)
農業農村工学会東北支部大会 研究奨励賞 受賞。研究活動において顕著な業績を収めた

同窓会からのお知らせ

食産業学部同窓会 分科会として立ち上げ

食産業学部では、一昨年の学部創設10周年を機にホームカミングデーなど卒業生を主体とした行事を行ってまいりました。今年10月の定期総会では宮城大学同窓会の分科会として食産業学部同窓会の正式な立ち上げを行い、今後も卒業生をつなぎ、現役生との交流などを通して大学発展に寄与し、継続的に活動を行っていきたくと考えております。学生時代に育んだつながりは時間が過ぎても貴重なものであり、社会に出てから大きな実りとなっています。今後とも、何卒よろしくお願ひ致します。

(食産業学部同窓会代表(就任予定) ファームビジネス学科1期生(平成20年度卒) 嶋田 圭)

4月4日(月)東京エレクトロンホール宮城で、平成28年度後援会総会が開催され、事業計画、予算、役員案など議案が全て承認されました。会長には角田氏が再任され新年度がスタートしました。

後援会 平成28年度事業スタート

平成28年度宮城大学入学式 学群・学類への改組を来年に控え、 学部・学科生一同に



平成28年度宮城大学入学式が4月4日(月)、東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館)で行われました。今年度の入学者は3学部合計で446人(うち3年次編入6人)、大学院は33人です。宮城大学管弦楽団による奏楽で厳かな雰囲気の中、村井嘉浩知事はじめ多くの来賓の皆様にご臨席をいただきました。

学長の式辞では、子ども白書の報告を引いて、日本の子どもは自分をよく知るということ(自己認識)や自己尊敬感が40%と低く、他の主要国の70〜80%という数字とは大きな隔たりがあること、それはなぜなのか、

という問いに対する一つの答えとして、宮城大学での学びでは、金太郎アメといわれる画一的な方向とは異なる、一人ひとりの個性を豊かでたくましくし、しなやかな思考ができる人材を輩出する、というビジョンが示されました。

新入生を代表して事業構想学部事業計画学部の竹内春菜さんから、高度な専門性と実践能力を身につけ、これからの社会に貢献して、よりよい未来を創っていくために、勉学に励み、自らを鍛えていく「挑戦の4年間」にするとの決意が述べられました。

午後からのオリエンテーション終了後は雨も上がり、さわやかな春空に送られて、今年の入学式も無事に幕を閉じました。(後援会会計書記 阿部成雄)

平成28年度の新学期が無事にスタートしました。今年4月、かねて準備を進め、平成29年度から新しいカリキュラムを用いた新しい大学体制に移行する改革プランを文部科学省に申請していたところ、6月28日に無事認可を得ることができました。

宮城大学は来年度、四年制大学として発足してから開学20年の大きな節目を迎えます。この間、先人達の努力を発展させ、一応の社会的評価が得られる大学として存続してまいりました。しかしながら、我が国における少子



存在価値の高い大学 目指し新体制へ

学長 西垣 克

高齡化という大きな社会変革に直面するようになり、大学のあり様が大きく変わってまいりました。このような状況に対応し、今まで以上に地域社会における存在価値の高い大学を目指す努力が必要とされています。

そこで、先に述べたような改革プランを立案し、来年度から本格的に実施していく準備期間として移行作業を進めています。この移行期には旧カリキュラムと新カリキュラムが併存し、その運用には多くの困難がありますが、職員一丸となって汗をかき、乗

り切ろうと頑張っているところで、

本学では、学生がそれぞれの人生を豊かに切り開いていける「人間力」を身に付けられる大学を目指しています。そこで、今年度からカリキュラムは旧カリキュラムのままですが、大学の運営体制は新しいシステムを取り入れて運用しています。学生のキャンパスライフが一層充実したものにしよう体制を新たにしていますので、実のある効果が現れることを大いに期待しております。

◎ 28年度事業計画

項目	予算額	備考
収入		
積立金	1,540,000	入学生 440人 × 3,500円
繰越金	6,160,744	
計	7,700,744	
支出		
事業費	1,840,000	大学、学生への記念品
卒業記念事業積立金	5,860,744	
一般会計繰出金	0	
予備費	0	
計	7,700,744	

(記念事業等積立金)

項目	予算額	備考
収入		
積立金	2,000,000	
繰越金	11,376,868	
計	13,376,868	
支出		
事業費	2,000,000	20周年記念事業一部費用
記念事業等積立金	11,376,868	
予備費	0	
計	13,376,868	

◎ 27年度事業報告

項目	決算額	備考
収入		
積立金	1,557,500	入学生 445人 × 3,500円
繰越金	6,813,244	
計	8,370,744	
支出		
事業費	2,210,000	大学への記念品、学生への記念品
卒業記念事業積立金	6,160,744	
一般会計繰出し金	0	
計	8,370,744	

(記念事業等積立金)

項目	決算額	備考
収入		
積立金	2,000,000	
雑収入	0	
繰越金	9,376,868	
計	11,376,868	
支出		
事業費	0	
記念事業等積立金	11,376,868	
計	11,376,868	

◎ 28年度一般会計予算

項目	予算額	備考
収入		
会費	17,560,000	新入生・編入生・終身会員
雑収入	0	
寄付金	0	
繰越金	4,689,012	
他会計繰入金	0	
計	22,249,012	
支出		
事務費	2,350,000	人件費、通信費等
会議費	700,000	理事会・特別委員会経費
事業費	14,366,000	大学祭、サークル助成等
入学記念事業費	1,056,000	入学記念品(校章バッジ) 新入生交流会費用一部助成
卒業記念積立金	1,540,000	卒業生記念品
記念事業等積立金	2,000,000	
予備費	237,012	
計	22,249,012	

◎ 平成27年度一般会計決算

項目	決算額	備考
収入		
会費	18,080,000	新入生・編入生・終身会員
雑収入	30,000	H26年度学生活動費執行残
寄付金	0	
繰越金	4,307,424	
他会計繰入金	0	
計	22,417,424	
支出		
事務費	2,256,970	人件費、通信費等
会議費	519,556	理事会費用弁償費等
事業費	10,360,934	大学祭、サークル助成等
入学記念事業費	1,033,452	校章バッジ配布 新入生交流会費用一部助成
卒業記念積立金	1,557,500	卒業生記念品
記念事業等積立金	2,000,000	
予備費	0	
計	17,728,412	



後援会設立20周年に向けて
後援会長 角田秀晴

来年は宮城大学創立20周年、大学創設時より父母の皆さまを中心に大学のサポーターとして組織されたこの宮城大学後援会も創立20周年を迎えます。20年、人間でいけば成人式。立派な大人の仲間入りですが現実には私たち親と同世代のOBすらまだ存在していないほど若い大学です。この後援会の存在意義はまだまだあるのではと思っております。

そこで後援会は20周年に向けて次の3つの事業の準備を進めてまいります。

一つめは「記念誌編集事業」です。現在、編集方針を詰めておりますが、これまでの後援会活動をまとめた記念誌が各界へ広く行き渡ることによって宮城大学の広報になり、知名度、信頼感の醸成に役立てると考えています。

二つめは「助成事業」です。学生の向学心への喚起や、キャン

来年は宮城大学創立20周年、大学創設時より父母の皆さまを中心に大学のサポーターとして組織されたこの宮城大学後援会も創立20周年を迎えます。20年、人間でいけば成人式。立派な大人の仲間入りですが現実には私たち親と同世代のOBすらまだ存在していないほど若い大学です。この後援会の存在意義はまだまだあるのではと思っております。

そこで後援会は20周年に向けて次の3つの事業の準備を進めてまいります。

一つめは「記念誌編集事業」です。現在、編集方針を詰めておりますが、これまでの後援会活動をまとめた記念誌が各界へ広く行き渡ることによって宮城大学の広報になり、知名度、信頼感の醸成に役立てると考えています。

二つめは「助成事業」です。学生の向学心への喚起や、キャン

平成28年度後援会役員

1年間どうぞよろしく申し上げます (敬称略)

NO	役職名	氏名
1	会長	角田 秀晴
2	副会長	木口 幸雄
3	//	齋藤 浩美
4	//	武田 篤彦
5	理事	遠藤 明美
6	//	大瀧 龍哉
7	//	菊地 正
8	//	佐竹 加代子
9	//	佐藤 功太郎
10	//	高橋 明子
11	//	千葉 晶子
12	//	中條 英明
13	//	中村 美奈
14	//	福士 明嘉
15	//	村上 晃淳
16	//	和田 達雄
17	//	渡辺 久徳
18	監事	沖野 佳秀
19	//	下山 晴朗
20	//	千葉 清純

看護学部3・4年生を対象に 医療機関研究セミナー

職業を自ら選択できる能力を育成

6月15日(水)、宮城大学大和キャンパス体育館にて、「宮城大学医療機関研究セミナー」を開催しました。本セミナーは、学生が各医療機関の特色や継続教育に関する説明を受けることにより、学生の職業観や勤労観を涵養し、個々人の個性や適性に応じた職業を自ら選択できる能力の育成や、学習意欲を高めるため、看護学部の3、4年生を対象に毎年開催しています。10回目の開催となった今回は、県内外から41の医療機関にお越しいただき、177名の学生がブースに分かれて医療機関の特色等の説明を受けました。ブースへの訪問は、事前予約制としているため、多くの学生は自分が訪問する医療機関の研究を事前に行い、熱心に説明を聞いていました。

今回のセミナーをはじめ、宮城大学では、学年や進路希望に応じたキャリア教育を実施し、適切なキャリア形成ができるよう支援してまいります。皆様方の変わりぬくご支援・ご協力を、よろしく申し上げます。

(学務課 萩野俊輔)



医療機関の説明を熱心に聴く学生



科学は、おいしい料理を作ることができるのか？～分子調理への誘い～ ㊤

料理人からみた「科学」、 科学者からみた「料理」

食産業学部准教授 石川 伸一

二十世紀後半から二十一世紀に入って、世界の料理界は、美食大国とはあまり思われていなかったスペイン「エル・ブリ」のシェフ、フェラン・アドリヤ氏に振り回されることになりました。

エル・ブリで有名になった調理法の一つに、食材を泡にする「エスプーマ」という技術があります。アドリヤ氏は、生クリームや卵白を泡立てた「ムース」から着想を得て、ソーダを作る器具を改良し、エスプーマを完成させました。この調理器具は、空気のみで素材を泡立てることができるため、通常泡立たない食材、例えばグリーンピースやハーブなどを泡にした料理が作れるというものです。

エル・ブリの料理は、「人の五感すべてに働きかけ、さらに、“人の脳をびっくりさせる”料理」を標榜していました。そのようなある種奇抜な料理を作るためには、従来の調理器具や調理方法では足りないため、これまで料理には使われていないような道具や手段を導入しました。

実験室で使うような器具や技術がエル・ブリのキッチンにあったので、多くの人にとってアドリヤ氏の料理が“科学的”に見えました。しかし、テクニックに“実験的な”手法を使うからといって、それが「サイエンス」であるかどうかはまた別話です。

一方、フランスの物理化学者エルヴェ・ティス氏は、「分子ガ

ストロノミー(分子美食学)」を提唱したことで知られています。

ティス氏はシェフと協力し、調理における興味深い事実を発見し、また新たな調理法も開発しました。しかし、ティス氏自身は、「分子ガストロノミー」は、「技術ではなく科学である」と位置づけ、新しい食材、道具、手法を用いて斬新な料理を創る技術とは異なるという主張を続けてきました。

ティス氏は、科学に固執し、シェフらの分子ガストロノミーへの貢献を高く評価しなかったため、最初協力的であったシェフたちが次第に離反していきました。このような経緯もあり、シェフの中には、「分子ガストロノミー」という言葉にアレレギーを示す人も多くいるといわれています。

しかし、シェフらは、今後の新しい料理の発展にとって、科学の知識や新しい技術が不必要だと考えているわけではなく、むしろそれらが重要であるという認識は強く持っています。

石川 伸一 (いしかわ しんいち)

1998年東北大学大学院農学研究科修了。日本学術振興会特別研究員、北里大学助手・講師、ゲルフ大学客員研究員などを経て、現職。著書に、「[もしも]に備える食」(清流出版)、「料理と科学のおいしい出会い」(化学同人)、「大震災を生き抜くための食学」(主婦の友社)などがある。



新 入 生 交 流 会



キャンパス間・学部間の交流が深まるように、 松島で新たな出会いを演出

宮城大学では、4月15日(金)と16日(土)の1泊2日で「新入生交流会」を実施しました。交流会の目的は、①お互いの顔が見える関係を築くこと、②大学での学びに見通しを与えること、③宮城という地域を体感すること、の3つです。今年は、新入生437人、2年生以上の上級生57人、教職員138人の総勢632人、バス20台での行事になりました。

過去3回は蔵王町で行ってきた交流会ですが、蔵王山の火山情報を気にしながらの行程には困難が多いため、今回は会場を初めて松島町に移し、ホテル松島大観荘で2つのキャンパスの学生と教職員が寝食をともにしました。

1日目は学部別の企画による交流行事から始まり、松島町のゆるキャラ「どんぐり松ちゃん」(童謡どんぐりころころの作詞家が松島町出身であることから)を引き連れた松島町長の歓迎あいさつ、恒例となった書評合戦「ピプリオバトル」と盛りだくさん、2日目は食産業学部の卒業生を含む松島町職員3人を迎える「フィールドワーク」。「松島町民の森知名度アップ大作戦」を行いました。日本三景の松島で、海ではなく山に行きましたが、一般には知られていなかった森で美しい満開の桜に会い、不安な気持ちも軽くなった学生が多かったようです。

(後援会会計書記 阿部成雄)

◎平成 27 年度卒業者の進路状況

学部	学科	コース	平成 27 年度 卒業生			就職			未就職			進学			その他 (自営等)		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
看護学部	看護学科		3	101	104	3	94	97	0	0	0	0	5	5	0	2	2
		事業計画学科	39	63	102	37	60	97	1	1	2	1	1	2	0	1	1
		情報システム	13	4	17	11	4	15	0	0	0	2	0	2	0	0	0
		空間デザイン	10	19	29	10	16	26	0	0	0	0	2	2	0	1	1
事業構想学部	デザイン情報学科	デザイン情報	16	41	57	15	36	51	1	2	3	0	1	1	0	2	2
		学科小計	39	64	103	36	56	92	1	2	3	2	3	5	0	3	3
		学部小計	78	127	205	73	116	189	2	3	5	3	4	7	0	4	4
食産業学部	ファームビジネス		21	21	42	17	15	32	0	0	0	3	2	5	1	4	5
		フードビジネス	16	41	57	14	36	50	0	0	0	2	5	7	0	0	0
		環境システム	19	15	34	19	13	32	0	0	0	0	2	2	0	0	0
		学部小計	56	77	133	50	64	114	0	0	0	5	9	14	1	4	5
全体計			137	305	442	126	274	400	2	3	5	8	18	26	1	10	11



式に臨む学生

平成27年度卒業式

学部生442人、
大学院生25人、
社会へ

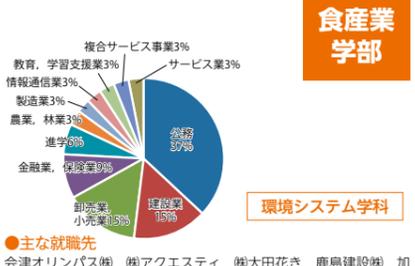
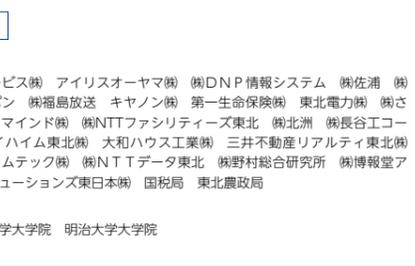
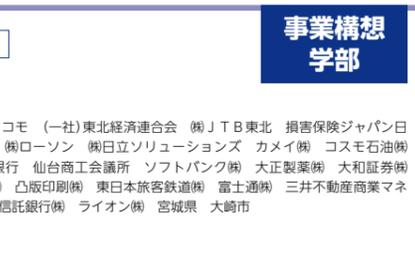
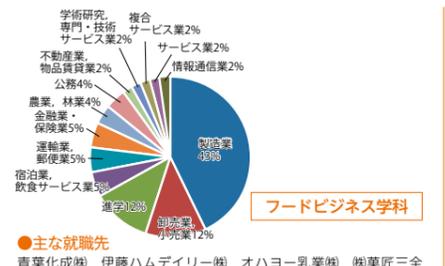
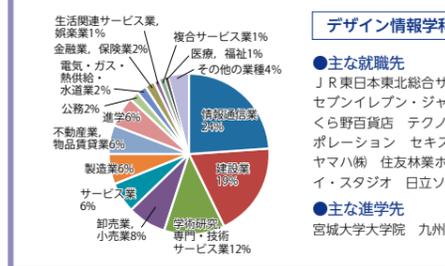
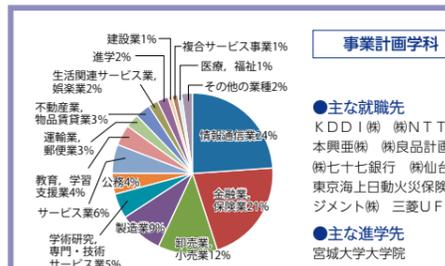
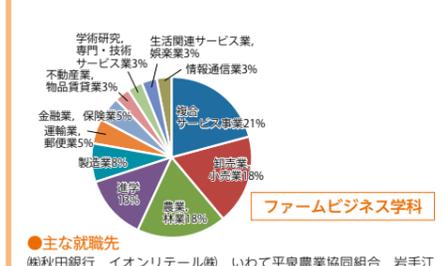
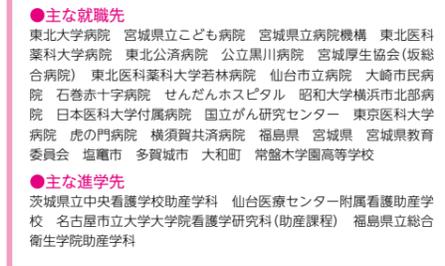
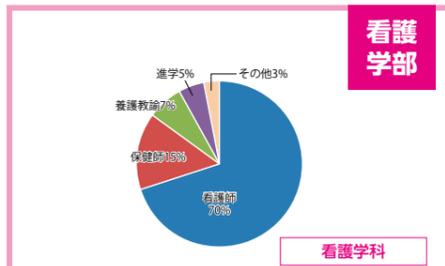
穏やかな春の日差しがふりそそぐ3月19日、平成27年度卒業式が、宮城大学大和キャンパス講堂で行われました。

この日卒業を迎えたのは看護学部(16期生)104人、事業構想学部(同)205人、食産業学部(8期生)133人の学部生442人と、大学院生25人を合わせた487人です。

西垣学長は式辞で「宮城大学で学んだ事を基盤に大いなる志と勇気を持って大きく羽ばたいていっていただき、しっかりと大きき育て、社会的をリードしていただける人々を祝福しました。

卒業生を代表して、事業構想学部事業計画学科の大石奈美さんは「震災の残した爪痕と、復興へ日々奮闘する人々の活力を肌で感じながら4年間を過ごしてきた。卒業後はそれぞれに違う道を進みます。宮城大学で学んだことを礎に思いやり、心をつなげ、社会に貢献していきたいと思いと社会人としての決意を述べました。

式には他に多くの来賓や保護者が出席し、卒業生を祝福しました。



環境システム学科

●主な就職先
会津オリンパス(株) (株)アクエスティ (株)大田花き 鹿島建設(株) 加藤産業(株) (株)七十七銀行 (株)仙台銀行 仙台中央食肉卸売市場(株) 第一生命保険(株) 東亜道路工業(株) 東鉄工業(株) (株)ニトリ (株)ピーエス三菱 常陸農業協同組合 (有)北総ベジタブル 国土交通省東北地方整備局 国土交通省北海道開発局 農林水産省北陸農政局 福島県 宮城県 宮城県警察 那須町

●主な進学先
宮城大学大学院 東北大学大学院

仙台市秋保にオープンした醸造所で、食産学部学生がワインづくりの研修に参加しています。その一人佐藤なつみさん(ファームビジネス学科3年)に体験談をご紹介します。

『ひと、地域、文化、産業をばぐむワイナリーづくり』に参加して

食産学部ファームビジネス学科3年 佐藤なつみ

2015年12月、宮城県有数の温泉郷として有名な仙台市秋保町に宮城県に唯一のワイナリーとして仙台秋保醸造所がオープンしました。『ひと、地域、文化、産業をつなぐワイナリーづくり』を目指して

その一環として、学生の研修、インターンシップの受け入れも積極的に行っています。私たち宮城大学の学生も、昨年度から研修に参加させていただきました。活動としては、畑の整備、ブドウの木植樹や、



オープン前のワイナリーを見学。高根さん(左)より醸造の説明を聞く。

畑の作業

ボトルのラベリングなどを体験。栽培・醸造に関しては、担当の高根雄人さんにご指導いただきました。高根さんは、食産学部ファームビジネス学科の1期生で、私たちが先輩にあたります。高根さんが特に注視しているのが土作りであり、「良いブドウは、良い土壌から」というポリシーのもとに、土壌の生物学的性質、化学的性質、物理学的性質に着目した土づくりを行い、試行錯誤しながらブドウを栽培しています。初年度に植えたブドウは、現在3年目を迎え、今年には収穫、そしてワイン醸造に使用できるようにあります。

宮城県出身である私にとって、地元を貢献したい、地元の良さをもっと知ってもらいたいという気持ちは強くあり、ワインというモノを通して世界を知り、また世界に地元を伝えて行けないかと思いました。ワイナリーでの活動を通して、今後のビジョンを明確にすることができました。学生のみならず、興味があればぜひ一緒に活動しましょう。私たちは仲間を募集しています！

活動へエール

指導教員 食産学部教授 森本素子
秋保ワイナリーの醸造責任者高根さん、シードルプロジェクトの一員である結城果樹園の結城さんは、いずれも宮城大学の学びを実践・ビジネスに展開して第一線で活躍する期待の卒業生です。ワイナリーでの活動は、現役学生にとって、大学の学びが自分の将来や地域の活性化にいかにつながるのかを肌で感じる場であると同時に、秋保の恵まれた自然の中での楽しい時間となっている様子で、今後の活動にも大いに期待をしています。

夏のオープンキャンパス 過去最高の来場者

キャンパス別に二週にわたり開催されたオープンキャンパスには、高校生や保護者らが多数訪れ大学の雰囲気を体感しました。来場者数は両キャンパスとも過去最高となりました。



大和キャンパス(7月18日)



太白キャンパス(7月24日)

「親のためのキャリア教育セミナー」 後援会主催で開催

講師に宮城大学特任准教授の宮崎良徳先生を招き、親として子の進路への向き合い方を学ぶセミナーです。テーマは「学生の人生設計作りを後押しする親の関わり方」。是非、ご参加下さい(午後1時30分～午後3時(受付:午後1時から)、大和キャンパス400講義室)



H28年度主催事業「講演会」

落語家 柳家花緑氏を招き「講演」と「落語」の2部構成でお届けします。花緑氏はスピード感溢れる歯切れの良い語り口が人気で、落語の新しい未来を切り拓く旗手として注目されています。どうぞお楽しみに。



MYU FES 2016 ー 学祭の準備着々とー

大和・太白両キャンパスで大学祭の準備が進んでいます。実行委員長の星寛大さん(大和)柴田優さん(太白)のお二人にそれぞれ今年の見どころを伺いました。



大和キャンパス

今年のテーマは「AquaMyum」(宮城大学を水族館に見立て「Aquarium(水族館)」と「MYU(宮城大学)」を合わせた造語)。広大な海から集まった魚たち(宮城大生)が訪れる人々を魅了するというコンセプトです。現在、お化け屋敷や、企業とコラボスマートホンを利用したアトラクションを企画しています。企業とのコラボは初めてで、戸惑いや難題に直面することも多いですが、実行委員一丸となって挑戦します。是非お越しください！

(大和キャンパス大学祭実行委員長 事業計画学科2年 星 寛大)



太白キャンパス

「いただきます！～食材に感謝をこめて～」をテーマに、昨年大変好評だった「収穫体験」を今年も実施します。サツマイモ、大根、ジャガイモなどなど、来場して下さった方々に収穫と食べる喜びを感じてもらえたらと思います。他にもカラオケ、男女装、○×ゲーム、ミス&ミスターコンテストなど、楽しい企画をたくさん用意しています。皆さまのご来場をお待ちしています。

(太白キャンパス大学祭実行委員長 ファームビジネス学科2年 柴田 優)

H28度 MYU キャンパスカレンダー

4月	
1日(水)	春季休業(～4/7)
4日(月)	入学式・後援会総会(県民会館)
8日(金)	前期授業開始
15日(金)	新入生交流会(～4/16)
5月	
1日(日)	開学記念日(休業日)
2日(月)	休講日(開講調整日)
6月	
11日(土)	後援会主催事業 「MYUサポーターズデイ」(大和)
15日(水)	医療機関研究セミナー
18日(土)	後援会主催事業 「MYUサポーターズデイ」(太白)
7月	
18日(月)	夏のオープンキャンパス(大和)
24日(日)	夏のオープンキャンパス(太白)
8月	
9日(火)	夏季休業開始(～9/30)
9月	
9日(金)	入試日(大学院・編入)
17日(土)	後援会主催事業 「親のためのキャリア教育」セミナー
10月	
3日(月)	後期授業開始
9日(日)	大学祭(～10/10大和) 秋のオープンキャンパス(大和) 卒業生ホームカミングデイ(大和) 宮城大学同窓会定期総会
10日(月)	後援会主催事業 柳家花緑氏「講演」と「落語」
15日(土)	大学祭(～10/16太白) 秋のオープンキャンパス(太白) 卒業生ホームカミングデイ(太白)
22日(土)	入試日(AO入試)(～10/23)
29日(土)	入試日(大学院 看護)
12月	
10日(土)	入試日(帰国子女・社会人・外国人留学生)
25日(日)	冬季休業開始(～1/7)
H29年	
1月	
14日(土)	大学入試センター試験(～1/15大和)
2月	
4日(土)	入試日(推薦入試)
25日(土)	入試日(一般選抜前期)(～2/26)
3月	
12日(日)	入試日(一般選抜後期)(～3/31)
18日(日)	卒業式・学位記授与式

絆 No.16



より良い形の同窓会を目指して

宮城大学同窓会運営委員会委員長 島山 直樹
事業計画学科2期生(平成14年卒)

宮城大学同窓会は、平成19年12月に設立の後、これまで過去2回の同窓生パーティーや、震災直後の現役生支援、キャリア講義への講師派遣等の実績を積んで参りました。

私たちの母校宮城大学は、これから丁度20周年の節目の年を迎えますが、現在この機会を同窓会再立ち上げのフェイズと位置付け、20周年を盛り立てる企画の実施と、同窓会自体をより良い形に変革することを両輪として行い、特別計画を進めております。

具体的には、企画面では両キャンパスでのホームカミングデーや、同窓生パーティーの実施を行います。会のあり方につ

いては、同窓会の分科会として食産学部同窓会を規約上に位置付け、組織形態の変更承認を得る定期総会を、秋に実施します。また同窓会名簿作成への取り組みや、卒業生と現役生の互恵関係構築のための仕組み作りを、現役生の協力を得ながら進めて参ります。

今から振り返ると、思えば現役学生時代というのはあっという間の短いものでしたが、卒業してからのほうが永く一生涯の仲間同士です。改めて同窓の絆を認識する毎日です。



インターンシップで上京している宮城大生のサポートを行う。=2011年5月都内平和島ユースセンター



第2回同窓会パーティー=2009年2月7日メトロポリタン仙台

在校生、卒業生、保護者、教職員などさまざまな立場で宮城大学に関わっている方から寄せられた思いでつなぐ「絆」。今回ご登場いただくのは、宮城大学同窓会の代表、島山直樹さんです。島山さんは同窓会立ち上げ以来今日まで活動の中心的役割を果たしています。将来宮城大学を支える大きな力となるべく同窓会を支える島山さんの活動をご紹介します。

ができればと考えます。今後とも何卒宜しくお願いいたします。